

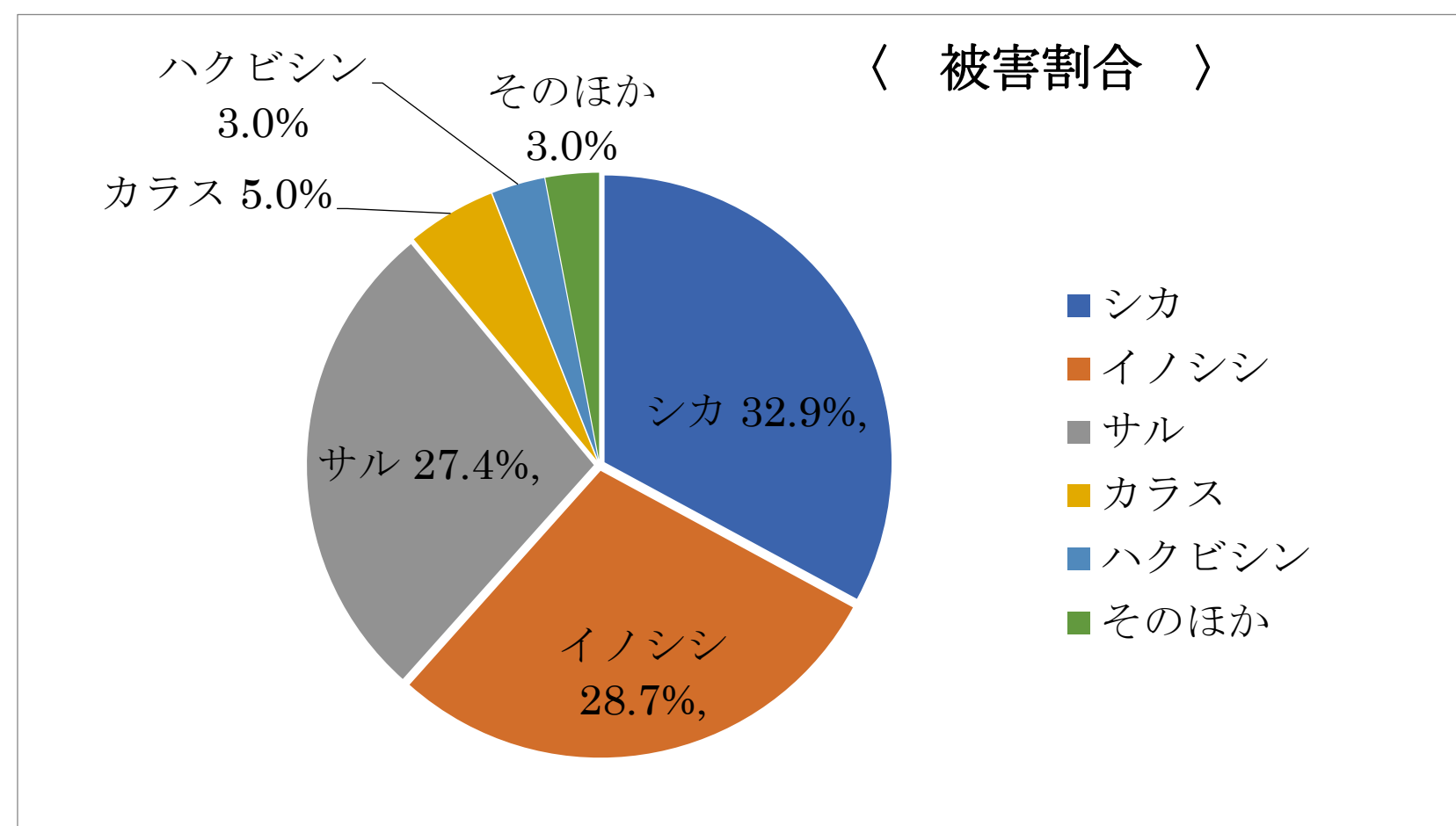
1. 将棋にした理由

町家オイデナーレに参加し、展示するため将棋は多くの人が一度はしたことがあり、とくに高齢者の方はできる方が多いと思ったから。また、ルールが簡単なため、わからない人でも説明書を読めばやることができる。作品としても展示ができる。

駒を郡上にかかわらせたものに変えることで解決できると思った。

郡上には畑や田んぼを持っている家が多い。なので、駒を農業とそれに対する害獣に分けることで郡上に関わらせることにした。

2. 現状と制作



これは農作物被害件数を害獣別にし、円グラフにしたものである。

グラフからわかるように被害の割合は鹿、猪、猿などがほとんどである。

また、被害にあわないためにしている対策は、柵、音、罠、犬、猟師などがあげられる。これらで対策することにより害獣被害を抑えている。

これらの現状を踏まえ将棋の駒の役割と重ね合わせながら駒を決め、制作していった。

3. 町家オイデナーレ

町家オイデナーレでは多くの人に興味を持ってもらうことができ、「おもしろい」や「よくできている」などの感想をもらうことができた。

また、中には対局する人もいた。



4. 感想

害獣被害のことを調べてみて、最近ではニュースでは被害にあっていることを取り上げられているが、実は数字で見ると年々かなり減少していることがわかった。しかし、人間が被害を受けるだけでなく、人間が害獣に被害を与えているところもあると思う。例えばスポーツ。スポーツをするには場所と道具が必要。そのため、競技場を作るのに山を切り開いたり、化学物質の使用により自然環境に影響を与え間接的に害獣に被害を与えている。この様にお互いが被害を与えあっている状態だと思った。害獣と人間が調和していくことが持続可能な社会の実現に必要なと思う。